

まほらいな市民大学の様子

令和5年5月9日（火）

『美咲 蘭 のトークと語りべの世界』

～文学作品と朗読コンサート～ 』

講師 オフィス蘭主宰 語りべ師 美咲 蘭 氏



美咲 蘭さん、大垣孝夫さん、岩波美佐穂さん、築野文子さんの語りと、ギター演奏者 角田忠雄さんが創り出す『語りの劇場』に学生たちは魅了され、読み聞かせの奥深さや広がりのある物語の世界に引き込まれ、たっぷり満喫することができました。さらに、地元の語りのグループ「伊那 麦の穂」と「箕輪 星の会」の皆さんの発表もあり、それぞれの発表に多くの感動をよびました。

「おばあさんと医者（イソップ物語）」は人の心底にある正直さに気づかされる話でした。「ひだまり」は2匹の猫の愛情物語で、やさしい心にあたたかさを感じ、悲しい場面では涙を誘いました。スクリーンに映し出された絵と、情景や心情を込めた語りで、ひと言ひと言が心に響いてきました。「一度限りの旅」「雪の花」「青い花」も、ギターの音色と抑揚のある声や豊かに表現された語りで、感動的な話でした。

美咲 蘭さんから「フレイル」についての話がありました。「元気な心と体で、健康寿命を長く保ちたい。健康長寿の3つの柱は、栄養（食・口腔）、身体（運動や歩行）、社会参加です。市民大学に来て学ぶことはとても良いことです」といった話もありました。

学生からは、「どの語りも心に深く安らぎを与えてくれました。一つの言葉に心を込めて、心あたたまる時間でした。」「角田さんのギター演奏を聴きながら、童話の世界に引き込まれてしまいました。」「やさしい語りの中に万感の思いが込められていて、心がやさしくなりました。」「フレイルを食い止め、健康な心をよびます。まさに今の自分に大切なことだと思った。」といった感想がありました。